

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 24 日現在

機関番号：12603
 研究種目：基盤研究(B) (一般)
 研究期間：2013～2015
 課題番号：25284101
 研究課題名(和文) 英日中国語ウェブ誤用コーパス構築と母語をふまえた英語・日本語・中国語教授法開発

 研究課題名(英文) Construction of a Japanese-English-Chinese Online Error Corpus and development of English, Japanese and Chinese language pedagogy taking into account learners' native languages

 研究代表者
 望月 圭子 (Mochizuki, Keiko)

 東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授

 研究者番号：90219973

 交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,100,000円

研究成果の概要(和文)：東京外国語大学を拠点に、リーズ大学・北京大学・台湾師範大学・上海外国語大学と連携し、「国際多言語学習者コーパス・誤用辞典」を以下のサイトに公開した。<http://ngc2068.tufs.ac.jp/corpus/>
 英語の誤用では、“in/on/at”及び“of”の誤用が顕著で、その要因として、日本語の空間認知表現が豊富ではなく、多様な修飾関係も“の”のみで表示する「無界的」言語であることがあげられる。中国語の誤用でも、日本語の「無界性」の影響が観察され、冠詞に相当する“一+類別詞”、完結性の補語や“-了”の欠如が顕著である。日本語の無界性が、英語・中国語の誤用に影響することが検証された。

研究成果の概要(英文)：In collaboration with The University of Leeds, Peking University, National Taiwan Normal University and Shanghai International Studies University, we constructed an International Learners' Error Corpus of English, Japanese and Chinese, available at the link below.
<http://ngc2068.tufs.ac.jp/corpus/>
 Among the errors by Japanese learners of English, there was a striking tendency to misuse “in/on/at” and “of”. Errors involving the former have their origins in the fact that Japanese exhibits an “unbounded” spatial perception. The origins of errors of the latter type lie in the “unboundedness” of the Japanese adnominal modification structure. The influence of “unboundedness” in Japanese can also be observed in the errors by Japanese learners of Chinese. There is a conspicuous lack of determiner, of telic complements/-le. We have verified the necessity of foreign language pedagogy which takes into account the native languages of learners.

研究分野：対照言語学、外国語教育、日本語教育、英語教育、中国語教育、第二言語習得、コーパス言語学

キーワード：英語誤用辞典 日本語誤用辞典 中国語誤用辞典 第二言語習得(中間言語研究) 英語ライティング
 教育 日本語ライティング教育 相互参照型英語・日本語・中国語学習者コーパス 対照言語学

1. 研究開始当初の背景

東京外国語大学では、コーパス言語学・学習者コーパスの発展にともない、効率のよい外国語教授法を目的として、学習者コーパスに基づき、学習者がどのような産出をしているのかを研究する中間言語研究を進めてきた。

(1) 国際日本語学習者コーパス

グローバル COE プログラム「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」(2007 年度～2011 年度)において構築され、以下のサイトで公開している。

<http://cblle.tufs.ac.jp/lc/ja/index.php?menu=ang=ja>

本コーパスでは、台湾銘傳大学(中国語母語話者)、英国リーズ大学(英語母語話者又はヨーロッパ言語母語話者)、国立キエフ言語大学(ロシア語又はウクライナ語母語話者)における日本語学習者作文コーパス(作文数 395、文字数 193,743 字、執筆者総数 395 名)を、学習者から著作権に関わる承諾書を得たうえで、学習者情報とともに公開している。

(2) 「日本語誤用オンライン辞典」

(1)の日本語学習者作文コーパスの一部に対して、海外の日本語教育の現場からの要望に応え、構文・文法・語彙上の誤用項目を抽出し、「なぜ誤用なのか、正用表現は何か」という情報を丁寧に記載した、日本語の学習者・教育研究者のための「日本語誤用オンライン辞典」を作成し、以下のサイトで公開している。

<http://cblle.tufs.ac.jp/lc/ja/index.php?menulang=ja>

(3) 「オンライン英作文学習者コーパス・誤用辞典 Online Dictionary of Misused English」

英語学習者コーパスは、2011 年度より東京外国語大学国際日本研究センターの日英語対照プロジェクトとして支援を受け、(1)(2)の「国際日本語学習者コーパス」「日本語誤用オンライン辞典」と同様の手法で、収集・製

作された。この英語上級学習者作文コーパス(TOEIC 平均 800 点程度)は、東京外国語大学英語専攻 1 年生必修授業 Academic Writing で、授業外で辞書使用の条件下で執筆された 600words 前後の英作文から構成され、2014 年 2 月時点で、120 名の学習者が執筆した 1,189 作文が収録されている。さらに、誤用辞典としては、英語母語話者教員の監修のもと、英語母語話者が添削し、冠詞及び前置詞の誤用項目についてのみ検索可能な「オンライン英作文学習者コーパス・誤用辞典 Online Dictionary of Misused English」を以下のサイトで公開している。

<http://sano.tufs.ac.jp/lcshare/htdocs/index.php>

(4) 「英日中国語ウェブ誤用コーパス構築」への試み

上記の日本語・英語学習者コーパス・誤用辞典製作の方法論をもとに、本科研では、対象言語を中国語へ広げ、東京外国語大学の中国語専攻の学習者コーパス構築・誤用辞典構築へと発展させ、国際的な英語・日本語・中国語学習者コーパス研究ネットワークを構築し、学習者コーパスの共有・協働研究を目的とした。

2. 研究の目的

(1) 学習者の母語をふまえた外国語教授法開発

第一研究目的として、「英語・日本語・中国語学習者の母語の影響がどのように中間言語、誤用にみられるのか」の探求を掲げ、効果的な外国語教授法開発をめざした。

(2) 国際英語・日本語・中国語学習者コーパスの構築

(1)の第一研究目的のために、母語が異なる英語・日本語・中国語学習者コーパス構築をリーズ大学・北京大学・上海外国語大学・国立台湾師範大学・ハーバード大学との連携を目的とした。

(3) 日本語母語話者英語・中国語学習者の中間言語における日本語の影響

「日本語母語話者は、外国語学習の際に、英語学習、中国語学習のいずれにおいても、日本語の特質の影響を大きく受けた誤用があるのではないか、そうした日本語母語話者特有の誤用は何か」という新たな研究視点の解明を目的とした。

(4) 「英日中国語ウェブ誤用コーパス公開」

上記の「日本語・英語学習者コーパス・誤用辞典」製作の方法論をもとに、英日中国語誤用コーパスをウェブ上で公開し、一般の英語・日本語・中国語学習者に貢献することを目的とした。

3. 研究の方法

(1) 国際英語・日本語・中国語学習者コーパス研究チームネットワークの構築

東京外国語大学を拠点として、国際連携(国立台湾師範大学、ハーバード大学、南カルフォルニア大学、北京大学、上海外国語大学、上海師範大学、リーズ大学、国際教養大学、早稲田大学、関西学院大学)による英語・日本語・中国語学習者コーパス研究ネットワークを構築し、ハーバード大学、北京大学・上海師範大学・東京外国語大学・大阪大学等で国際会議で発表し、研究交流を行った。

(2) 同一課題による相互参照型学習者コーパスの収集と誤用分析

東京外国語大学を拠点に、国立台湾師範大学、北京大学、上海外国語大学、リーズ大学の教員・学生たちの協力を得て、同一テーマで執筆した英語・日本語・中国語作文を収集し、誤用分析を行った。

(3) 誤用タグ付与システムの開発

英語・日本語・中国語学習者コーパスに対して、まず、およそ50項目の誤用分類システムを決定し、さらに、添削・誤用タグ付けを効率的に行うソフトウェア開発を行った。

4. 研究成果

(1) 「英日中国語ウェブ誤用コーパス公開」

以下のサイトに、英語・日本語・中国語学習者コーパス及び誤用検索システムを一般公開した。

<http://ngc2068.tufts.ac.jp/corpus/>

英語・日本語・中国語学習者誤用検索システムでは、国際連携で、以下の学習者作文コーパスが収録されている。

英語作文は、284 作文が誤用タグ付きで収録されている。作文執筆者は、主に東京外国語大学英語専攻・国立台湾師範大学英語専攻・上海外国語大学英語専攻の学生たちで、上級英語学習者コーパスと位置付けられ、誤用には、単純な誤りが少なく、学習者の母語の影響による誤用がより明確に観察される。

日本語作文は、129 作文が誤用タグ付きで収録されている。作文執筆者は、交流協定大学である英国リーズ大学日本語学科の学生、

上海外国語大学日本語専攻の学生、北京大学の第二外国語として日本語を履修している学生、国際教養大学の英語を母語とする日本語学習者である。

最後に、中国語作文は、369 作文が誤用タグ付きで収録されている。作文執筆者は、東京外国語大学中国語専攻の2,3,4 年生で、2013 年から2014 年の2 年間に、授業の課題として、授業外に辞書使用で執筆された作文に、中国語母語話者が下添削し、さらに中国語を教える中国語母語話者教員が添削の二重チェックを行って、誤用タグを付け、語彙文法項目の誤用検索が可能となっている。

(2) 英語・日本語・中国語の誤用項目開発

英語・日本語・中国語の三言語において、どのような誤用項目を設定するかについて、各言語チームが協議して、50 項目の語彙・文法・構文・文体に関わる誤用項目を設定し、各言語の誤用類型が相互参照可能とした。

(3) 誤用タグ付与システムの開発

英語・日本語・中国語学習者コーパスに対して、添削・50 項目の誤用タグ付けを効率的に行い、学習者コーパス、誤用コーパスをXML形式に自動変換するソフトウェア開発を行った。

(4) 日本語母語話者の英語誤用の特徴の解明

日本語母語英語学習者コーパスでは、以下の現象が明かになった。

第一に、英語の空間を表す前置詞“in” “on” “at”のうち、“in”の過剰使用が顕著であるという事実をみた。その誤用原因として、日本語における「～内」、「～の中」、「～こむ」「奥」等、「内部空間に融合しているモノ」「境界が曖昧な内部空間」といった空間認知が関与し、日本語母語話者において、「無界的」空間認知が卓越し、「無界的」空間に“in”を用いる可能性が観察された。

第二に、日本語母語話者は、連体修飾にみられる“of”の過剰使用が、中国語母語話者よりも卓越していることが、観察され、日本語の連体修飾表現「NP₁のNP₂」に起因する可能性について論じた。

(5) 日本語母語話者の中国語誤用の特徴の解明

日本語母語中国語学習者コーパスでは、「中国語の数量詞“一个”の欠如」、英語母語話者学習者コーパスでは、「中国語の数量詞“一个”の過剰使用」が卓越しているという対比が観察された。日本語が「無界的」事象把握の特質をもつため、日本語母語話者にとって、「有界的」事象把握の“一个”の習得が困難であることが示唆される。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計29件)

1. 望月圭子2016「日本語母語話者による英語・中国語における誤用：東京外国語大学国際英語・中国語学習者コーパスにみられる英語前置詞及び中国語“一+類別詞”の誤用」東京外国語大学論集92号、ページ数未

定、査読有。

2. 望月圭子・申垂敏・游 韋倫・福田翔・張学博・張正 2016 「以英日語為母語的漢語學習者在學習量詞短語與結果補語時的偏誤差異—兼談網路漢語偏誤詞典的建構」『現代汉语虚词研究与对外汉语教学』第6卷、ページ数未定、上海师范大学对外汉语学院。招聘論文。

3. 望月圭子・申垂敏 2016 「英語・中国語からみた日本語の無界性：複合動詞と空間認知」『日本語学習者の母語・地域性をふまえた日本語教育研究とウェブ辞典構築—国内外の日本語教育研究機関との協働的研究』43-65. 査読無。東京外国語大学国際日本研究センター。

<http://www.tufs.ac.jp/common/icjs/nl/rep0002.pdf>

4. Kumiko Sakoda 2016

“Errors and learning strategies by learners of Japanese as a second language”

Handbook of Japanese applied linguistics. (Handbooks of Japanese language and linguistics series Vol.10,129-150. 査読有。

5. 田中真理・迫田久美子・野田尚史 2016. 「日本語学習者コーパスにおける対話：ロールプレイ、メール、エッセイの分析をとおして」『ヨーロッパ日本語教育』20 卷、ページ数未定。査読有。

6. 于康 2016 発行予定

<日語偏誤語料庫建設とタグ設計の原則 (Japanese error corpus construction and label design principles)><日語研究>10. 商務印書館 (北京) 査読有。

7. Keiko MOCHIZUKI, Hiroshi SANO, Ya-Ming SHEN, Chia-Hou Wu. 2015

“Cross-Linguistic Error Types of Misused Chinese Based on Learners’ Corpora” *Computational Linguistics and Chinese Language Processing* Vol. 20, No. 1. 97-114. The Association for Computational Linguistics and Chinese Language Processing. 査読有。

<http://www.aclclp.org.tw/clclp/v20n1/v20n1a6.pdf>

〔学会発表〕(計 80 件)

1.

迫田久美子 「日本語学習者コーパスにおける対話—ロールプレイ、メール、エッセイの分析をとおして—」ヨーロッパ日本語教師会 AJE 2015 年 8 月 28 日。ボルドーモンテニュ大学、フランス。

2.

于康 「受動の射程と規則性の一般化」第七屆漢日對比語言學研討會。2016 年 8 月 20 日～21 日。上海外國語大學 (中國) 招待講演。

3.

Keiko Mochizuki, Hiroshi Sano, Caroline Kano, EbeidEhab, Ahmed Karim Ezz., Laurence Newberry-Payton, YaMing Shen,

Yu Weilun, Go Inoue. “Cross-Linguistic Learners’ Corpora : English, Chinese, Arabic and Japanese”. The 3rd International Workshop on Advanced Learning Sciences. 2015.8.1. Tokyo University of Foreign Studies. 東京.招聘発表。

4. Kumiko Sakoda “Corpus of learners of Japanese as a L2 among 16 countries”. The 3rd International Workshop on Advanced Learning Sciences. 2015.8.1. Tokyo University of Foreign Studies. 東京.招聘発表。

5. Hiroshi Sano, Caroline Kano, Laurence Newberry-Payton, Weilun Yu, Zheng Zhang, Go Inoue, Yaming Shen and Keiko Mochizuki, Sho Fukuda (University of Toyama) et al. “Comparative Analysis of English, Chinese and Japanese Based on Learners’ Corpora”. Tokyo University of Foreign Studies, 東京. 招聘発表。

6. 望月圭子 「日本汉语学习者的虚词偏误与偏误语料库的建构」第六届现代汉语虚词研究与对外汉语教学学术研讨会。2014.7.18.上海师范大学对外汉语学院 (中国) 招聘講演。

7. Keiko Mochizuki “Error Types in NTNU/TUFS Learners’ Error Corpora of Chinese and English”. 2014.7.17. The Second International Workshop on Advanced Learning Science. National Taiwan Normal University. (台灣) 招聘発表。

8. Keiko Mochizuki and YaMing Shen. “The Construction of a Chinese Language Error Corpus and an Analysis of Error Types” 2014.9.27. First Harvard International Conference on Chinese Pedagogy : Pedagogical Expertise from Multidisciplinary Perspectives. Harvard University (アメリカ). 招聘発表。

〔図書〕(計 13 件)

1. 野村 恵造 (編集主幹) 2016 旺文社 オーレックス和英辞典 第2版 総ページ数 : 2200 ページ

2. 野村 恵造 (編集代表) 2016 啓林館 *Vision Quest English Expression I Core* 127 ページ

3. 野村 恵造 (編集代表) 2016 啓林館 *Vision Quest English Expression I Standard (Revised)* 143 ページ

4. 野村 恵造 (編集代表) 2016 啓林館 *Vision Quest English Expression I Advanced (Revised)* 159 ページ

5. 堀内仁 2016. 中俣尚己編 (第2章 堀内仁) くろしお出版。『現場に役立つ日本語教育研究シリーズ 5 コーパスから始まる例文作り』「第2章 状況・場合を表す表現」

6. 猪野真理枝・佐野洋 2016. 『英作文なんかこわくないⅢ連用修飾篇』東京外国語大学出版会。149 ページ。

7. 砂岡和子,室井禎之(編).2016.『日本発多言語国際情報発信の現状と課題ーヒューマンリソースとグローバルコミュニケーションのゆくえ』”Voices from Japan in a Multilingual World: Prospects for Fostering Human Resources and Global Communication” 朝日出版社.383 ページ.
8. 館岡洋子、于康主編 2015.『日本語教育の研究法』高等教育出版社
9. 野村恵造、山崎のぞみ、内田諭、島原和之。2014.Vision Quest English Expression II (高校英語検定教科書). 啓林館。144 ページ.
10. 猪野真理枝・佐野洋 2014.『英作文なんかこわくないII連体修飾篇』東京外国語大学出版会。320 ページ。
11. 于康、田中良.2014.『TNR_Chinese Error Corpus. WT と中国語教育及び中国語研究.』好文出版。199 ページ。
12. 于康 2014《方法工具与日語教学研究叢書:日語偏誤研究的方法与实践》浙江工商大学出版社. 250 頁
13. 于康、田中良、高山弘.2014.《方法工具与日語教学研究叢書 加注標箋軟件与日語研究》浙江工商大学出版社.231 頁.

〔その他〕 ホームページ等

1. 「英日中国語ウェブ誤用コーパス公開」
<http://ngc2068.tufts.ac.jp/corpus/>
2. the 10th International Workshop on Theoretical East Asian Linguistics (TEAL-10) at Tokyo University of Foreign Studies(TUFS), Tokyo, Japan on June 13-14 (Saturday and Sunday), 2015.
<http://www.tufts.ac.jp/blog/ts/g/teal10tokyo/teal-10.html>
3. The 3rd International Workshop on Advanced Learning Sciences 2015.
国際ワークショップ 「卓越した外国語教育科学」 Tokyo University of Foreign Studies(TUFS)
<https://mdle.tufts.ac.jp/3rdIWALS/>

6. 研究組織

(1)研究代表者

望月 圭子(Mochizuki Keiko)
東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授
研究者番号：90219973

(2)研究分担者

1. 佐野 洋 (Sano Hiroshi)
東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授
研究者番号：30282776
2. 申 亜敏(Shin Abin, Shen Ya-Ming)
東京外国語大学 国際日本研究センター特任研究員 研究者番号：40723276

3. 小柳 昇(Oyanagi Noboru)
東京外国語大学 国際日本研究センター特任研究員 研究者番号：40723276
4. 野村 恵造 (Nomura Keizo)
東京女子大学 現代教養学部 教授。
研究者番号：60172813
5. 迫田 久美子(Sakoda Kumiko)
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立国語研究所・日本語教育研究・情報センター・教授
研究者番号：80284131
6. 野田 尚史 (Noda Hisashi)
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立国語研究所・日本語教育研究・情報センター・教授
研究者番号：20144545
7. 于 康 (U Kou, Yu Kang)
関西学院大学 国際学部 教授
研究者番号：90309401
8. 砂岡 和子(Sunaoka, Kazuko)
早稲田大学 政治経済学術院 教授
研究者番号：70257286
- 9.堀内 仁 (Horiuchi Jin)
国際教養大学 大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科 准教授
研究者番号：40566634
10. 狩野キャロライン (Kano Caroline)
東京外国語大学非常勤講師
研究者番号：60224630
11. 當真正裕(Toma Masahiro)
山梨学院大学国際リベラルアーツ学部 准教授
研究者番号：20567185

(3) 研究協力者

1. 游 韋倫(Yu Weilun)
東京外国語大学国際日本研究センター特任研究員、リングハウス教育研究所。
2. 片山晴一(Katayama Seiichi)
東京外国語大学総合国際学研究科博士後期課程。
3. 古賀健太郎(Koga Kentaro)
東京外国語大学総合国際学研究科博士後期課程。
4. 菅原更紗(Sugawara Sarasa)
東京大学職員。
5. ローレンス・ニューベリー・ペイトン (Laurence Newberry-Peyton)
東京外国語大学総合国際学研究科博士前期課程。
6. 張正(Zhang Zheng)
東京外国語大学総合国際学研究科博士後期課程。
7. 井上剛 (Inoue Go)
奈良先端技術大学大学院。
8. 李迎日(YI Yeong-ill)
東京外国語大学総合国際学研究科博士前期課程。
9. 陳浩然(Chen Howard Hao-Jan)
國立台灣師範大學英文系教授。

10. 張莉萍(Chang Li-Ping)
國立台灣師範大學國語教學中心副教授.
11. 吳佳厚(WU Chia-Hou)
國立台灣師範大學博士後期課程
12. 葉信鴻(Hsin-hung Yeh)
ハーバード大学中国語学科講師。
スタンフォード大学博士後期課程
13. 森本一樹(Morimoto Kazuki)
リーズ大学日本語学科准教授
14. クリストファー・ツアオ
(Tao Christopher)
ケンブリッジ大学博士前期課程
15. 趙 華敏(Zhao Huamin)
北京大学外国語学院教授
16. 解 璞 (Xie Pu)
北京大学外国語学院講師
17. 許慈惠(Xu Cihui)
上海外国語大学日本文化経済学院院長・
教授
18. 盛 文忠(Shen Wenzhong)
上海外国語大学日本文化経済学院副教授
19. 陸 潔 (Lu Jie)
上海外国語大学日本文化経済学院講師
20. 市川淳太 (Ichikawa Junta)
アジア・アフリカ語学院講師
21. 福田翔(Fukuda Sho)
富山大学准教授
22. 菊島和紀 (Kikushima Kazunori)
台湾淡江大学助理教授
23. 宮内拓也(Miyauchi Takuya)
東京外国語大学博士後期課程
24. 川村駿(Kawamura Shun)
東京外国語大学博士前期課程
25. 河畑謙太(Kawabata Kenta)
東京外国語大学外国語学部生
26. 楠卓(Kusunoki Taku)
東京外国語大学言語文化学部生
27. 松崎 武志 (Matsuzaki Takeshi)
明治大学政治経済学部特任准教授